

令和元年度 事業計画について

メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

I 基本方針

仙台市老人クラブ連合会は、これまで全国老人クラブ連合会の掲げる、メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」と、「健康・友愛・奉仕」の三大目標をもって、老人クラブの活動を充実させようと取り組んできたところである。

また、全国的な老人クラブ会員の減少を受けて全国老人クラブ連合会の提唱する「100万人会員増強運動」に呼応し、会員の増強運動にも鋭意取り組んできた。

しかしながら、その取り組みにもかかわらず、会員の減少が続き、会員数は、平成30年度において、9,442人と1万人を割る状況となった。

この組織存亡の危機ともいえる状況を打開すべく、これまでの会員増強計画を見直し、策定した新会員増強計画のもと、令和元年度においては、会員増強の取り組みに組織を挙げて力を傾注するとともに、クラブ活動の多様化、そして活性化を図り、多くの会員が集う老人クラブとなるよう、誰もが魅力を感じる老人クラブの実現をめざして取り組むこととする。

II 重点目標

<会員増強>

- 1 未加入クラブ、未加入高齢者の加入促進、特にクラブの若返りと活性化に向けた若手高齢者の加入促進
- 2 既存会員の退会の抑止に向けた事業環境・活動環境の改善

<健康・友愛・奉仕>

- 3 「高齢者の健康づくり」・「生きがいづくり」・「社会奉仕」の各事業の推進・充実
- 4 地域における会員を含む高齢者の孤立防止や日常生活支援の友愛活動の展開

<組織運営>

- 5 組織内における円滑かつ的確な情報提供及び情報共有の実現
- 6 組織運営基盤の強化
- 7 若手部活動の強化と若手会員の組織運営への積極的な活用
- 8 老人クラブ活動の充実と地域づくりへの一層の貢献をめざした行政や地域団体などとの連携強化

Ⅲ 事業計画

1 未加入クラブ・未加入高齢者の加入促進、特にクラブの若返りと活性化に向けた若手高齢者の加入促進

- (1) 区老連を中心に、地域の未加入クラブの加入に向け、プロジェクトチームによる働きかけの推進
- (2) 単老における、新規会員の入会促進への取り組み
 - ①会員による身近な高齢者に老人クラブの魅力を理解してもらう取り組みの推進
 - ②多くの高齢者が興味を持ちそうな活動の取り入れ
 - ③会員を純増した単老等への表彰及び奨励金の交付
- (3) 老人クラブ活動の意義そして魅力を伝える広報活動の強化充実
 - ①各区役所との共催による事業（区民祭り・豊齡まつり・芸能祭等）でのパネル展示等による老人クラブ活動の広報周知
 - ②仙台市及び仙台市健康福祉事業団の開催する「高齢者生きがい健康祭」・「介護予防月間行事」への出展を通じた老人クラブ活動への理解の進展
- (4) 社会福祉協議会、町内会、地域包括支援センターと連携した地域内の若手高齢者との交流の場などの創出
- (5) 身近にいる若手高齢者への活動紹介や行事への招待などの積極的な働きかけとともに若手高齢者が魅力を感じるクラブづくりの推進
- (6) 若手会員の活動参加を促し、力を発揮できる環境づくりの推進

2 既存会員の退会の抑止に向けた事業環境・活動環境の改善

- (1) 単老による活動環境整備
 - ・会員の年齢構成に合わせた活動の展開・推進
 - ・単老によるニュースポーツ・健康麻雀など新たな活動の展開
- (2) 仙老連・区老連による活動環境整備支援
 - ・仙老連、区老連の適切な役割分担による単老の活動環境整備に対する支援（企画立案・活動場所確保・活動用具提供等支援）
 - ・仙老連による活動拠点（老人つどいの家（好日庵）など）確保の支援
- (3) 単老・地区老（役員）の負担軽減
 - ・仙老連の行う会員参加行事の内容見直し
 - ・補助手続き事務の簡素化
 - ・仙老連・区老連による単老・地区老連運営へのサポート
- (4) 単老間の交流の推進
 - ・地域を越え、同種の活動等を通じた単老間の交流推進
 - ・単老間の情報ネットワークの構築

3 「高齢者の健康づくり」・「生きがいづくり」・「社会奉仕」の各事業の推進

- (1) シルバースポーツセミナーの開催
- (2) 高齢者の「健康ウォーキング」の推進

- (3) グラウンド・ゴルフ大会及びゲートボール・ペタンク大会の開催
- (4) 体育祭の開催
- (5) 体力測定事業の推進
- (6) 脳の健康づくり研修会の開催
- (7) いきいきクラブ体操の普及・実践
- (8) 全国一斉「社会奉仕の日」活動の取り組み
- (9) 伝承活動、世代間交流活動の展開
- (10) シルバースターズ合唱団及び六和功の育成

4 地域における会員を含む高齢者の孤立防止や日常生活支援の友愛活動の展開

- (1) 認知症を発症した会員や身体的な衰えの見える会員に対し、その状況に合わせた生活支援等の友愛活動の実施
- (2) 地域における高齢者の把握とその孤立防止や地域における生活の維持継続に向け地域包括支援センターなどとの連携協力による支援の実施
- (3) 単老や地区老連において実施する「サロン活動」の充実
- (4) モデル地区における高齢者相互支援活動の継続的な展開

5 必要な情報が的確に単老会員に提供できる組織運営の実現

- (1) 区老連の理事会主導による地区老連理事会・単老の役員会の開催支援
- (2) 仙老連行事、専門部活動及び委員会活動に関する広報・周知の強化
- (3) 「区老連だより」及びホームページを利用した情報伝達
- (4) 単老実態調査結果の有効利用
- (5) 各区老連の専門部会・委員会と仙老連専門部会・委員会との連携

6 組織運営基盤の強化

- (1) リーダー研修会等の企画及び参加
 - 1) クラブリーダー養成研修会の実施
 - ①新任単老会長研修会
 - ②単老役員研修会、地区老役員研修会（各区老連で実施）
 - 2) 女性部企画講演会、女性部研修会の実施
 - 3) 東北ブロックリーダー研修会への参加（岩手県）
 - 4) 都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央研修会への参加（東京都）
 - 5) 全国老人クラブ大会への参加（埼玉県）

7 若手部活動の強化と若手会員の組織運営への積極的な活用

- (1) 人材育成養成講座の実施
 - パソコン技能の修得やリーダー研修を目的とする若手リーダー養成講座の実施
- (2) 若手部員や若手リーダー養成講座等修了者による仙老連事業運営の支援
 - 1) 体育祭など仙老連事業における支援
 - 2) 各区老連事業における支援

(3) 各区老連の組織運営における若手会員の活用

8 老人クラブ活動の充実と地域づくりへの貢献をめざした行政や地域団体などとの連携強化

(1) 会員クラブによる地域社会福祉活動促進に向けた研修会の実施（仙台市との連携）

(2) 高齢者の事故防止等に向けた行政機関との連携

1) 安心安全な地域づくりを目指し、警察署、消防署、地域包括支援センター、消費生活相談センター等との連携

2) 交通事故防止、火災防止、消費者被害防止等の研修会の実施

9 広報活動

(1) 機関誌（7月・1月）・情報紙（機関誌発行月以外の奇数月）の発行

(2) 企画広報部会を中心とした各種機会を捉えての仙老連の事業・活動の紹介

(3) 仙老連HPの定期的な更新と内容の充実

(4) 新聞、テレビ、ラジオなどマスコミへの各種行事情報等の提供

10 関係機関・関係団体との連携及び交流

(1) 全国老人クラブ連合会との連携協力

1) 全老連主催の全国老人クラブ大会などの会議・研修会への参加

2) 全老連のスローガン及び全国運動の展開に対する協力

3) 全老連の実施する各種調査等への協力

(2) 都道府県及び指定都市老人クラブ連合会との連携協力

1) 会長会、事務局長会への参加と情報交換

(3) 北海道・東北ブロック老人クラブ連合会との連携協力および情報提供

1) 北海道・東北ブロック会長・事務局長会議（秋田県開催）への参加と情報交換

2) 北海道・東北ブロック活動推進員会議（福島県開催）への参加と情報交換

(4) 仙台市（健康福祉局・各区役所）、健康福祉事業団、社会福祉協議会、地域包括支援センターとの事業・活動における密接な連携

11 法人の運営

(1) 通常総会（年1回）の開催

(2) 理事会（年6回）の開催

(3) 正副会長会（月1回）の開催

(4) 専門部会および高齢者相互支援活動委員会の開催（随時）

(5) 定例監査（年1回）